

資料-2

播磨社会復帰促進センター理容事業
—理容技術マニュアル（案）—

加古川理容業組合

社会復帰促進理容部作成
事務総括責任者：藪垣 利喜雄
平成25年7月8日

理髪マニュアル作成に付いて

「国」及び理容技術者の相互関係による技術書作成を念頭に置き 3つの角度からとらえ作成。

- ① 「国」理髪マニュアルに基づき作成。
- ② 理容技術者の立場から見たマニュアル作成。
- ③ 本書は理容学校の理容理論及び同センター理髪に付いて、持込み用具等の制約を考慮の上作成。

ア、理容技術に付いては関東、関西、広島以西、その他理容技術団体など、技術修練環境の違いがあり、本書作成に当たり全国理容学校共通の教科書を参考に作成いたしました。

イ、本書に記載したカット手順は、作成にあたり参考資料として記載いたしましたが、カットに於いて技術者に強制するものではありません。

ウ、作業の安全上、持込み用具の制約等考慮、バリカンを使った技術書を作成。

カットのための素材の理解

ここで述べる素材には、次の 2つがある。

- ① 頭部の形状
- ② 毛髪の性状

素材の理解は**頭部の形状的観測**と**毛髪の性状診断**によって行われ、刑務所理髪は造形行為です。

頭部の形状的観測には、頭部や顔面の原型は正中線を境にして、完全な対象ではなく、左右わずかであるが歪みがあり、頭骨の歪み・凹凸等を考慮する。

毛髪の性状診断には毛流・剛毛・軟毛・毛量の多い少ない・毛量密度などの観測を行い、仕上がりを考慮するが、素材により仕上がりに視覚的差異が感じられる。

以上の素材の条件を簡略に述べましたが、技術者は上記の判断で技術を行い、素材の条件を考慮致しますが、此処に作成するマニュアルに対して特別逸脱するような理髪技術でない場合は技術者の判断に委ねて頂きたいと考えています。

理容技術者は本書に基づき技術を行い、技術者間の技術に対し視覚的に差異が無いように注意する
同センター理容技術は基本、バリカンを使いバリカン刃の厚みを利用した技術を行い、頭部の各セクションに対して適切な技術を行う。

【専門用語の解説】

- ① **接合線**→起毛部^{きもうぶ}と伏毛部^{ふくもうぶ}から出来る境界線を指す。
- ② **刈上げ面**→2 mm から 7mm の長さに刈る時に出来る起毛部を指す。
- ③ **ネックライン**→耳を中心とした耳前部・耳上部・耳後部・乳様突起部等の生え際の頭毛を指す。
- ④ **ネープ**→襟足の生え際の頭毛のことをいう。また、単に、うなじ、襟首のこと。
- ⑤ 文章の表現上、バリカン及びクリッパーと表記致しますが、バリカンとクリッパーは同一道具です
- ⑥ **EC カット**は本マニュアル作成に於いて、櫛で髪^{かみ}の毛をすくい、櫛に出る余分な毛をバリカンでカットする技法(**EC の意味**:エレクトリック クリッパー)
- ⑦ 「国」マニュアルのクリッパー線を本マニュアルでは接合線及び接合部と表記。
- ⑧ 「国」マニュアルの後頭結節部を本マニュアルでは後頭突起部と表記。
- ⑨ 「国」マニュアル長さの表記センチメートルをバリカン刃厚み、c m及びmmと表記。

I) バリカンの使い方

- 1、 頭部を球体と考え、球体を同じ長さに揃える場合は 45 度の運行角度が基本。
- 2、 毛髪の流れに対し 45 度～90 度の迎え角度でバリカン刃を挿入、出来るだけ長いストローク運行を行う。
- 3、 各セクションの第 1 運行はバリカン刃全体を使って運行、第 2 運行からバリカン刃の 3 分の 1 を使って刈り進め、順次左右に移行し刈り進め、各、セクション毎に運行、直前に運行した箇所をバリカン刃の幅 3 分の 2 を密着させ修正刈りを兼ねながらバリカン運行を行う。

II) ネープ及びネックラインの処理方法

- 1、 2 mm 刃のバリカンを用いてネープ及びネックラインの処理を行う。
バリカンをネックラインに沿って角度を付け処理を行い、バリカンをネックラインより突っ込んで使用しないように注意が必要です。
- 2、 ネックラインのクリッパーは頭皮に対し角度を付けて使用。
(例) クリッパーの片方は頭皮に密着させ、片方の刃は頭皮から離れ、頭皮に対しては平行ではなく、角度が付いている事を指しています。
- 3、 耳前部、耳上部、耳後部の各髪際部より下方にクリッパーの片方を密着させ、クリッパーで耳を中心に仮想ラインの円を描き耳周りの処理を行う。
- 4、 乳様突起部から下方はクリッパーの片方を密着させ直線に近いライン処理を行う。
- 5、 上記、II) 3、 4、はネックラインに突き出た毛髪の角取を行い、ネック処理を行う。

III) 鋏の持ち込み

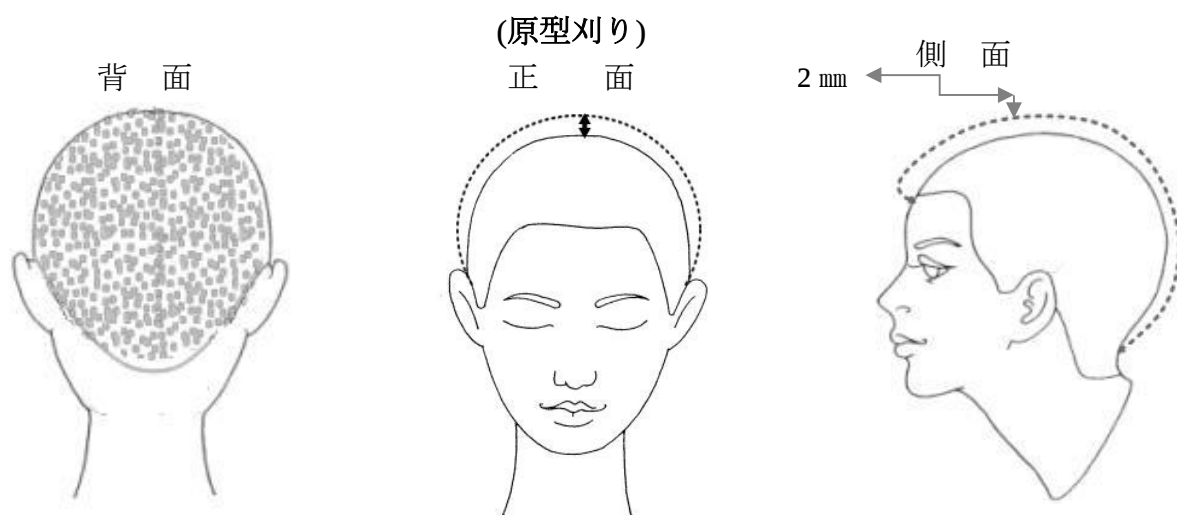
- 1、 鋏の持ち込みは平成 23 年 2 月作業者の安全上、協議により持ち込み禁止。
平成 23 年 2 月 14 日協議（担当官：山本統括 組合：藪垣 利喜雄）

IV) 作業に掛かる時間について

- 1、 基本的には 1 人 15 分かけて行っていれば宜しいです。（クリッパー 16mm 刃使用時、時間がかかり鋏刈りの方が時短出来るとのご意見がありますが、理髪対価の算出は 1 人 15 分となっています）
- 2、 作業時間は、各人の作業ペースで行ってください。（但し、参加者間との調和は考慮が必要です、当日作業の目安は班長にお尋ね下さい）

(別図第 1)

(原型刈り)

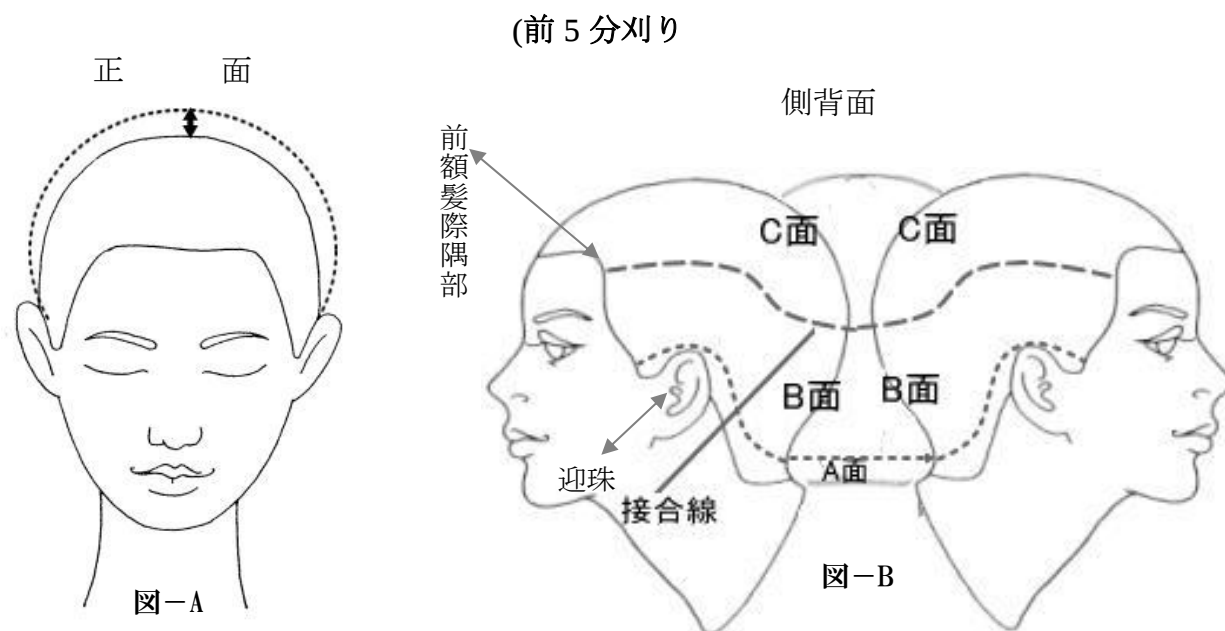


- ① バリカン刃 2mm の厚みで全体を同じ長さで平均に刈る。

(備考) 国マニュアル

- ① 0. 2 c m のクリッパーで頭髪の全体を平均に刈る。

(別図第2)



- ① ネックライン及び図-B ネープA面は2mm刃で処理を行いB面に繋ぐ為、A面中間部より3mm刃に移行しA面処理を行う、B面接合線は5～12mmバリカン刃を用いて、接合線より上部との調和を図りながら、A面からB面の接合線に至るに従い長くなるように、適宜刈りを進める。
- ② C面は16mmバリカン刃を用いて、接合部から頭頂部を平均に刈る。
- ③ Bカットはバリカン刃の厚みにより、各セクションの処理を行い櫛とバリカンによるECカットは行わない。

(理由：技術者間の技術統一と受刑者に対して技術統一を印象付ける事が目的)

(備考) 国マニュアル

1 接合線

接合線は、おおむね、前額部の左右前額髪際隅部の下約1cmの部位と後頭突起部の上約3cmの部位を結ぶ曲線とする。

2 クリッパーの入れ方

(1) 接合線より上部を刈る。

1. 6cmのクリッパーを用いて、図C面の接合線付近まで平均に刈る

(2) 接合線より下部を刈る。

すそ付近(ネープ及びネックライン)は、2mmのクリッパーを用い、また、接合線付近は7mmのクリッパーを用いて、接合線より上部の髪と調和を図りながら、すそから接合線に至るに従い長くなるように、適宜^{てきぎ}刈り進める。

(3) 「もみあげ」は、おおむね外まなじりの下部と迎珠上部を結ぶ線とする。

(別図第3)

(中髪刈り)

側面&背面

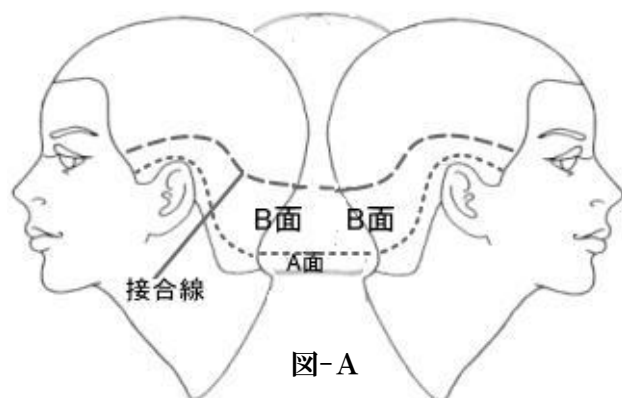


図-A



図-B

図-A 接合線及び刈上げ面

左右側頭耳前部の側頭髪際隅部の中央部位と耳上部2～3cm及び後頭突起部の下、約1cmを結ぶ曲線とする。

刈上げ面の厚み：A面を2mm刃で処理を行いB面に繋ぐ為、A面中間部より3mm刃に移行しA面処理を行う、B面を5～8mmの厚みで順次接合線につなぎ、適宜刈りを進める。

図-B バリカン挿入運行順序

左右側頭部はネープラインをガイドとして斜行運行により接合線につなぎ、適宜刈りを進める。



図-C

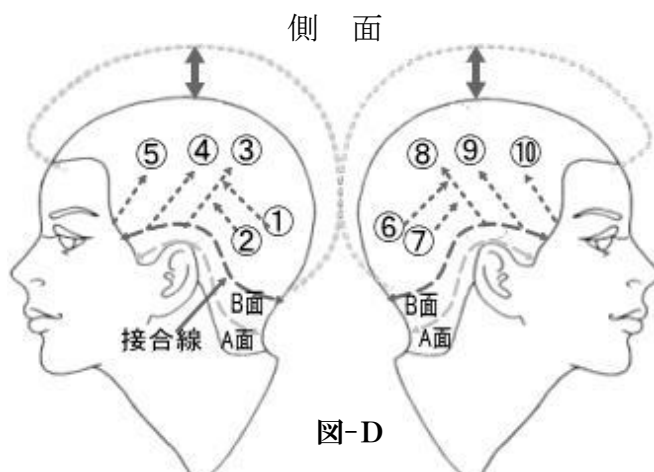


図-D

図-C 後頭部接合線上部のカット

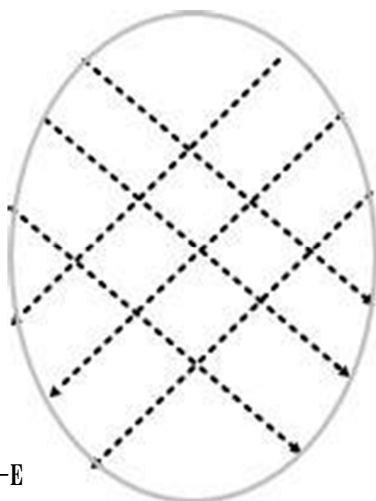
① と④はECによる斜行運行連続刈、②～⑦はECカットで接合部から斜行運行すくい刈り2櫛から4櫛で適宜刈りを進める。

図-D 左右側頭部接合線上部のカット

①～⑩をECカットで接合部から斜行運行すくい刈り3櫛から4櫛で適宜刈りを進める。

頭頂部

図-E 髪長さ



頭頂部 5 cm とし、E C カット 4 5 度運行により、すくい刈り及び指間刈で頭頂部に至るに従い丸みを持たせながら適宜刈りを進める。

【ポイント】

ア、斜行運行カットにより接合部から頭頂部全体にバランスの取れた丸みを持たせる。

イ、接合線に対して直角にバリカン挿入は行わない。

ウ、頭頂部の髪の長さは 5 cm にカット、接合部から頭頂部に至るに従い丸みを持たせながら刈る。

図-E

(備考) 国マニュアル

1 接合線

接合線は、おおむね、左右側頭耳前部の左右側頭髪際隅部の中央部位と後頭突起部の下約 1 cm メートルを結ぶ曲線とする。

2 クリッパーの入れ方

0. 2 cm のクリッパーを用い、クリッパー線より上部の髪との調和を図りながら、接合線より下部を刈る。

3 カットはさみの入れ方

- (1) 頭頂部の髪の長さは、約 5 cm とし、頭頂部に至るに従い丸みを持たせながら刈る。
- (2) 頭頂部周辺は、前頭部の髪との調和を図りながら、丸みを持たせて刈る。
- (3) 後頭部は、頭頂部付近及びクリッパー線付近においては、その周辺の髪との調和を図りながら、クリッパー線付近から頭頂部付近に至るに従い長くなるように適宜刈り進める。

4 「もみあげ」については、別図第 2 の要領に同じ。

※注記

「もみあげ」は、迎珠上部で水平に剃る。

迎珠

